

# ライル施工基準書

---

■この「施工基準書」をよくお読みいただき、正しく施工を行ってください。

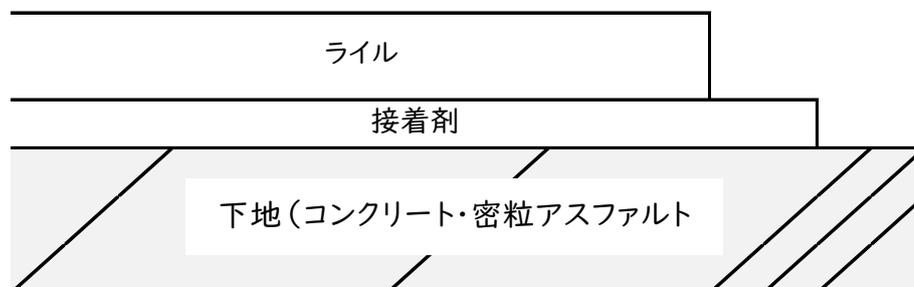
R7.5改定

# ライル施工基準

## 1.適用範囲

- 1) 下地の含水率は高周波水分計で8%以下とする。
- 2) 標準施行温度は5~35℃範囲とする。
- 3) 湿度は85%以下とする。

## 2.工法断面



## 3.下地

### 1) 材質

コンクリート、アスコン(密粒)が最適です。  
陶磁器、ガラスは推奨していません。

### 2) レベル

わずかな突起、部分的な傾斜でも施工後ライル表面に段差が出ます。下地の表面は必ず平滑にしてください。

### 3) 下地処理

油分(薬品類)、微粉体があると接着力を低下させる原因となり、ライル表面に吹き出してくることがあります。

下地表面の整備にはプライマー処理が有効です。

### 4) 水勾配

排水の為1.5%程度の水勾配をつけることが好ましい。



### 施工注意事項

1. ゴムチップタイルは地面(GL)より露出させない。  
(躓き等による安全保護、ゴムチップ端部・各部の保護のため)
2. ゴムチップタイルは接着が前提の製品となります。  
(経年劣化による反りを防ぐため)  
重量によっては接着が無くても大丈夫なケースもあります。

## 4. 貼り方

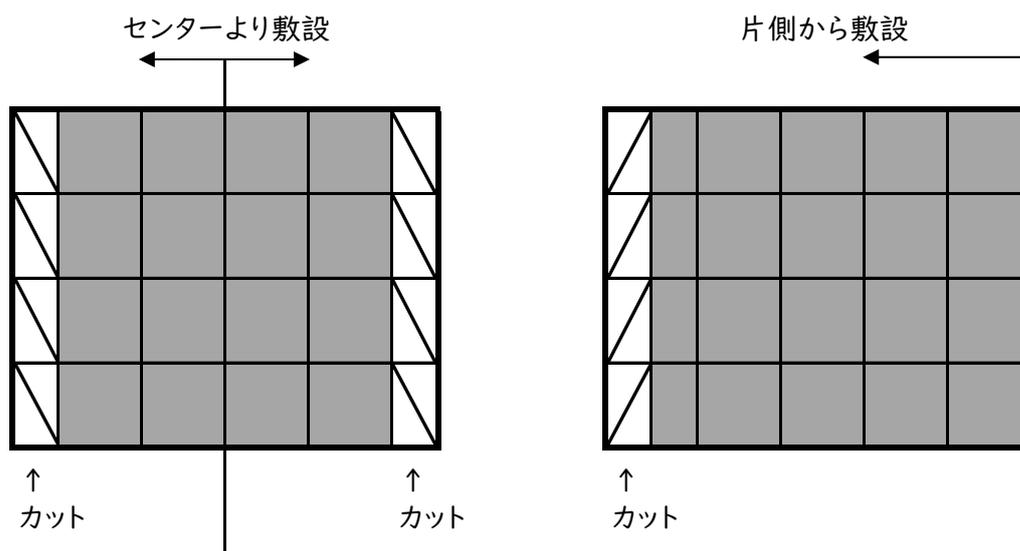
### 1) 前工程

現場の割り振りをし、墨だしをする。

ライルを未接着の状態を整列する。(50~100㎡位)

### 2) 敷設

センターから敷いていくのが理想ですが、材料のロス・カットの手間を節約するため、一方の隅から整列させて敷く方法でもさほど不自然ではありません。



### 施工注意事項

1. 蛇行しないよう各ライルを接着してください。
2. 接着剤塗布後オープンタイムを置いてからライルを敷設してください。  
オープンタイムは気温によって異なります。詳細は接着剤説明書を参照してください。
3. ライルは接着剤で全面接着し、特に目地部はハンドローラーで十分圧着してください。

### 3) 後工程

敷設後、順次接着状態を確認しながら最後に隅及びコーナー部の接着状態を確認してください。蛇行が見られた場合は敷設接着後、常温時約1時間以内に修正してください。

## 5. 材料伸縮と施工の対応

材料の性質上、若干の伸縮（季節差、気温差による）がありますので、施工にあたってこの点に留意する必要があります。

### ○伸縮が起きやすい条件

- ・気温差の大きい地域
- ・屋外で直射日光、雨雪に晒される場所

※気温差60℃において、1%弱の伸縮の可能性あります。

### ○対処方法

- ・冬場での施工時には若干ゆるめに施工してください。
- ・膨張してせりあがった場合には膨張部分をカットしてください。
- ・最初から伸縮を完全に防止するために全面接着をしてください。

## 6. カット

軟質材料のため、カットは比較的容易です。下地寸法、形状に合わせて適宜カットしてください。

### 【方法】

ハンドカットの場合、一度スリットを入れてください。一片を下に向けて少し押し出しながらカットするとスムーズに切れます。

## 7. 接着

### ○接着剤の種類

たいていの汎用接着剤は使用可能ですが、ウレタン系かエポキシ系を推奨します。

※速乾性の物は避けてください。

### ○当社取扱いの接着剤とその使用方法

品名	ルビロンR
構成	一液ウレタン系樹脂
単位	5kg缶又は16kg缶
液色	グレー
作業要領	主剤を下地に塗布※金ヘラが使いやすい 作業可能時間 常温時30分、硬化時間1昼夜 ※下地は乾燥状態で、ごみ・異物を出来るだけ除去すること。
接着力	8.76kgf/cm <sup>2</sup> （下地ストレート板の場合）
使用量の目安	400~500g/m <sup>2</sup> （下地モルタルの場合）

※一時的な使用などで仮止めする場合、業務用両面テープが有効です。

## 8. 耐久性・メンテナンス

使用条件により一律には言えませんが標準（自然）状態において10年は使用可能です。ただし、歩行頻度の高いところやスパイク使用場所では若干の摩耗や黒色化が発生する可能性があります。

また、直射日光に長期間晒されますと、退色や黒色化が発生する可能性があります。

※特殊条件下での施工テスト結果

### ①寒冷地冬季テスト

施工場所	北海道滝川市内
下地	コンクリート
期間	1989年12月～
材料	25mm（本体及び周辺材）
施工方法	全面接着
結果	一冬経過後、外観・接着性共に異常なし

### ②駐車場用途テスト

施工場所	千葉市、鬼怒川ゴム本社構内
下地	コンクリート
期間	1989年12月～
材料	25mm（本体及び周辺材）
施工方法	枠接着のみ
結果	目視異常なし

長期間使用後、部分的な劣化や変色による補修の際には該当箇所のみ交換することで対応可能です。ライルはメンテナンスが容易でありトータルコストを引き下げることができます。